

1・2年生 国語科学習指導案

日 時 令和元年 11 月 22 日(金)

児 童 宗谷小学校 第 1 学年 5 名
第 2 学年 1 名

指導者 ○○ ○○

第1学年

1. 単元名

「おはなしかいをしよう」
(教材「うみへのながいたび」)

2. 単元(教材)について

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領第 1 学年及び 2 学年の「C 読むこと」(1)の「ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」を受けて設定されている。写真と文章を手がかりに、登場人物である白くまに同化して、それぞれが想像を広げ、それを発表し合うという言語活動を連続させている。

教材文の「うみへのながいたび」は、白くまの親子が海までの長い旅をする過程を描いた文章で、白くまの兄弟の成長と、それを見守る母ぐまの様子がわかりやすく書かれている。また、白くまたちの生態を伝える写真が、児童の興味を引くとともに、場面の様子や白くまの気持ちを想像する活動を助ける。

また、()や「 」でくられて表記された内言や会話表現を音読することで、白くまの親子の様子や心情を想像することもできる。

(2) 児童の実態等～省略

(3) 指導観

単元のゴールで「おはなしかい」を開くことを目指して学習をスタートさせる。音読を中心に教材文を読み、時間的な順序をおさえることによって、ストーリー展開を把握させたい。さらに、文学的な文章表現の効果を感じながら、画像をもとにして登場人物の白くまに寄り添うような「読むこと」の活動を進めたい。

読解に際しては、語句の意味を理解させるために、体験を想起させ、動作化を取り入れたい。

(4) 仮説との関わり

【仮説】

「読みの基本」を身につけさせることで、主体的に学習に取り組む子どもが育つであろう。

本単元における読みの基本

・写真と文章を結びつけて、内容を読み取る。
・登場人物の行動や気持ちについて、想像を広げながら読む。

第2学年

1. 単元名

「しゃしんをつかって、せつめいしよう」
(教材「さけが大きくなるまで」)

2. 単元(教材)について

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領第 1 学年及び 2 学年の「C 読むこと」(1)の「イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」「エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。」を受けて設定されている。

「さけが大きくなるまで」は、文章冒頭の問いを受け、さけの成長過程を解説した文章である。さけの成長の様子を読むとともに、循環する過程のどこからでも一貫した説明ができるようになることを通し、時間的順序で内容を整理することの定着を目的とした単元である。問いを詳しく解説していく過程で、季節や時間を表す言葉、さけの名称の変化、さけの大きさを表す言葉などに着目し、その移り変わりをとらえることがポイントになる。

(2) 児童の実態等～省略

(3) 指導観

1 年生の説明文教材同様、「問いを立てて答える」という文章構成であるが、簡単な答えが示されて終わりではなく、さけの成長過程が詳しく解説されている。問いを受けて答える際の、考えの道筋が 2 年生の説明文の学習の重点となる。時間的な順序や事柄の順序などを考えながら読むことを意識したい。そのために、問いを踏まえて、さけの成長過程を時間的順序に従って整理し、写真をもとに簡潔に説明する活動を取り入れたい。

第 1 学年		第 2 学年	
構 造 化	・読み取りのパターンを示し、毎時間、それにしたがって学習を進める。 ・児童の発言を使ってまとめる。		
焦 点 化	・写真と文章を結びつけ、白くまの様子から気持ちを考える。 ・いつ、どこで、をおさえて、お話会の文づくりに生かす。	・写真と文章を結びつけ、教材文の内容を理解する。 ・場所、大きさ、時間をおさえて読み、説明会での発表に生かす。	

視覚化	・写真と文章のつながりを捉える。	・写真と文章のつながりを捉える。 ・成長していくさけの大きさを、絵を描くことでとらえる。
共有化	・ペアや5人での話し合いを取り入れる。 ・おもしろいところや好きなのところを発表し、聞き合う。	・相手に伝える意識をもって、さけの成長を説明できるようにする。

3. 単元目標

・写真と文章を結びつけて読もうとしている。(学びに向かう力、人間性等)
・写真と文章をもとに、白くまの親子の様子を想像しながら読んでいます。
・白くまになったつもりで、会話をしている。(思考力・判断力・表現力)
・()や「 」が、誰の気持ちや会話を表しているか理解している。(知識及び技能)

3. 単元目標

・さけの成長の過程に興味をもち、文章を読もうとしている。(学びに向かう力、人間性等)
・季節や場所、さけの様子など、情報を時系列でとらえる手がかりになる言葉に気をつけながら、文章を読んでいる。(思考力・判断力・表現力)
・順序や場所を表す言葉に気をつけて読んでいる。(思考力・判断力・表現力)
・さけの成長の過程を説明する際、季節や場所、さけの様子などの言葉を適切に使って話している。(思考力・判断力・表現力)
・時や場所、大きさを表す言葉に注意して、さけの行動や成長の様子を読み取っている。(知識及び技能)

4. 指導計画(第1学年9時間・第2学年11時間)

次	時	学習活動	評価規準	次	時	学習活動	評価規準
一見通す	1	・写真を見ながらどんな様子がわかるか話し合い、物語全体の流れをつかむ。	物語全体の流れをつかみ、おもしろいところや好きなのところを見つけている。【学人】	一見通す	1	単元名やリード文を読んで、順序に気をつけて読むという学習の見通しを持つようとする。	「さけが大きくなるまで」に興味をもち、順序に気を付けて読み進め、学習の見通しをもとうとしている。【学人】
二深める	2	・「1」「2」「3」の場面を、白くまの様子を考えながら、声に出して読む。	季節や場所、白くまの兄弟の成長ぶり、を表す言葉に注意しながら文章を読んでいる。【知・技】	二深める	2	・P32、33を読み、さけが大きくなる様子を、時や場所を表す言葉に気をつけて、カードにまとめる。	秋になり川に帰ってくるさけの様子を、時や場所、その時の様子に気をつけて、カードにまとめている。【思判表】
	3	・「4」「5」「6」「7」の場面を、白くまの様子を考えながら、声に出して読む。			4・5・6・7 本時	・P34～39を読み、さけが大きくなる様子を、時や場所を表す言葉に気をつけて、カードにまとめる。	
	4	・「1」「2」場面から、おもしろいところや好きなのところを見つけて、そのわけを友だちに発表する。					
	5	・「3」「4」「5」場面から、おもしろいところや好きなのところを見つけて、そのわけを友だちに発表する。					
	6 本時	・「6」「7」場面から、おもしろいところや好きなのところを見つけて、そのわけを友だちに発表する。					

三 ま と め あ げ る	7	・白くまたちがどんなことを話しているのか、白くまになったつもりで考える。	物語全体をふり返って、おもしろいところや好きなところと、その理由を考えている。【思判表】	三 ま と め あ げ る	8	・時や様子の変化を表す言葉に気をつけながら、写真を使ってさけの成長の様子を説明する文章を考える。	時や場所を表す言葉に気をつけて、写真を使ってさけの成長の様子を説明する文章を考えている。【思判表】
	8・9	・想像したことをもとにして、「うみへのながいたび」の話を膨らませた「おはなしかい」をする。	場面の様子や気持ちが変わるように、工夫して音読している。【思判表】		9	・P42 の写真の順に従って、さけの成長の様子について適切な言葉を使って説明する。	さけの成長の様子について、適切な言葉を使って写真の説明をしている。【思判表】

5. 本時(第1学年 6/9・第2学年 5/9)

(1)目標

○海に帰ってきた白くまの親子に興味を持ち、進んでおもしろいところや好きなところを見つけようとしている。

(学びに向かう力・人間性)

○白くまの親子が海に帰ってきた場面を読み、おもしろいところや好きなところとその理由を発表することができる。

(思考力・判断力・表現力)

(1)目標

○春になるころの、さけが大きくなる様子に興味を持ち、進んで読み取ろうとしている。(学びに向かう力・人間性)

○春になるころの、さけが大きくなる様子を、時や場所を表す言葉に気をつけて、カードにまとめることができる。

(思考力・判断力・表現力)